



2021年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年10月22日

上場会社名 株式会社PLANT

上場取引所 東

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ツ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

定時株主総会開催予定日 2021年12月17日

配当支払開始予定日

2021年12月20日

有価証券報告書提出予定日 2021年12月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の業績(2020年9月21日～2021年9月20日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	96,241	0.1	1,543	12.1	1,656	11.4	1,155	10.6
2020年9月期	96,110	4.3	1,376		1,486		1,044	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	143.82		7.6	3.9	1.6
2020年9月期	129.81		7.4	3.6	1.4

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 百万円 2020年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	41,710	15,662	37.6	1,949.54
2020年9月期	42,612	14,693	34.5	1,828.92

(参考) 自己資本 2021年9月期 15,662百万円 2020年9月期 14,693百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	472	836	1,232	7,781
2020年9月期	5,335	1,679	825	7,704

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期		0.00		18.00	18.00	144	13.9	1.0
2021年9月期		5.00		16.00	21.00	168	14.6	1.1
2022年9月期(予想)		5.00		17.00	22.00		15.1	

3. 2022年9月期の業績予想(2021年9月21日～2022年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,500	0.4	710	0.2	740	0.0	500	1.1	62.24
通期	95,500	0.5	1,550	0.4	1,660	0.2	1,160	0.4	144.39

(注)2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績の予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年四半期増減率については、2021年9月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期	8,090,000 株	2020年9月期	8,090,000 株
期末自己株式数	2021年9月期	56,280 株	2020年9月期	56,280 株
期中平均株式数	2021年9月期	8,033,720 株	2020年9月期	8,046,151 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度(自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による個人消費や企業活動の収縮、雇用環境の悪化等の影響が長期化する中、ワクチンの接種が進み、政府や地方自治体による経済対策等の効果から、回復の兆しが見られたものの、変異株ウィルスの急激な拡大により、一部地域において断続的な緊急事態宣言の発令や、まん延防止等重点措置の実施により先行きが不透明な状況が続いておりました。

小売業界におきましては、国内外における新型コロナウイルス感染症終息の見込みが依然不透明であることから、商品の調達や消費への影響は、今後さらに長期化することが懸念されます。また、日本国内における人口減少により市場規模が縮小していく中で、業種業態を問わず企業間競争は熾烈を極めております。

このような状況のもと、当社は、収益力の強化を最重要課題とし、下記の施策に積極的に取り組んでまいりました。

- ①「新たな顧客の創造」(客数増)策として、
 - ・ P B (プライベートブランド) 商品開発の強化
 - ・ 買い物環境改善のための売場改装、キャッシュレス対応
 - ・ 新たな顧客サービスとしてEC販売、ピックアップサービスの推進
 - ・ 新業態の開発
- ②「粗利改善・経費削減」策として、
 - ・ ロス対策の強化及びバイヤーの交渉力強化
 - ・ 自動発注システムによる在庫適正化
 - ・ 業務効率化による労働時間の削減
- ③「コロナ禍におけるスーパーセンターの使命」として、
 - ・ 社会のインフラとして日常生活に必要な商品をワンストップで提供
 - ・ 広大な店舗面積を活かして安心して買い物ができる環境の提供

以上の結果、当事業年度における経営成績は、売上高は96,241百万円と前事業年度比0.1%増となりました。利益におきましては、営業利益は1,543百万円(前年同期比12.1%増)、経常利益は1,656百万円(前年同期比11.4%増)、当期純利益は1,155百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

なお、当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は、41,710百万円(前年同期比901百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金の減少(前年同期比1,223百万円減)によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、26,048百万円(前年同期比1,870百万円減)となりました。これは主に、長期借入金の減少(前年同期比673百万円減)によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、15,662百万円(前年同期比969百万円増)となりました。これは主に、当期純利益が1,155百万円となり、剰余金の配当が184百万円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ76百万円増加し、7,781百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は472百万円（前年同期5,535百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益1,715百万円、減価償却費1,381百万円、未払消費税等の減少978百万円、法人税等の支払546百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果獲得した資金は836百万円（前年同期1,679百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出800百万円、定期預金の払戻による収入2,100百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は1,232百万円（前年同期825百万円の使用）となりました。これは、長期借入による返済458百万円があったことによるものであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率(%)	46.7	33.7	34.5	37.5
時価ベースの自己資本比率(%)	26.9	14.6	16.2	14.2
債務償還年数(年)	0.9	—	2.0	23.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	54.2	—	49.6	4.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は、期末株価×期末発行済株式数により算出しています。

（注2）有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債の内、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4）利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（注5）2019年9月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

国内外における新型コロナウイルス感染症終息の見込みが依然不透明である中、日本国内の小売業界におきましては、消費者の行動や消費スタイルに変化が見られ、益々多様化する消費者ニーズへの対応が求められております。

消費者の節約志向は依然として根強く、低価格競争の激化、ネット販売や食品の宅配等の事業環境変化、人手不足のなか人材確保にかかる人件費をはじめ、物流コスト等各種経費が上昇し、今後も経営環境は益々厳しさを増すものと思われまます。

このような状況のもと、第41期（2022年9月期）につきましては、「改装での既存店活性化による客数増」「PB強化による差別化・粗利改善」「業務改革による人件費削減」を重点施策とし、収益構造改革に取り組んでまいります。

以上のことから、2022年9月期の業績見通しといたしましては、売上高95,500百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益1,550百万円（前年同期比0.4%増）、経常利益1,660百万円（前年同期比0.2%増）、当期純利益1,160百万円（前年同期比0.4%増）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年9月20日)	当事業年度 (2021年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,254	8,031
売掛金	1,388	1,719
リース投資資産	29	29
商品	7,239	7,332
貯蔵品	23	24
その他	624	596
流動資産合計	18,559	17,733
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,934	24,175
減価償却累計額	△13,550	△14,195
建物(純額)	9,383	9,980
構築物	3,615	3,763
減価償却累計額	△2,366	△2,486
構築物(純額)	1,249	1,276
機械及び装置	271	264
減価償却累計額	△106	△130
機械及び装置(純額)	164	133
車両運搬具	81	84
減価償却累計額	△63	△65
車両運搬具(純額)	17	19
工具、器具及び備品	1,397	1,509
減価償却累計額	△1,052	△1,067
工具、器具及び備品(純額)	344	442
土地	5,327	5,327
リース資産	2,592	3,710
減価償却累計額	△1,288	△1,629
リース資産(純額)	1,304	2,080
建設仮勘定	1,381	5
有形固定資産合計	19,173	19,266
無形固定資産		
借地権	1,248	1,241
ソフトウェア	61	142
リース資産	62	49
その他	7	7
無形固定資産合計	1,380	1,441
投資その他の資産		
投資有価証券	30	28
リース投資資産	198	169
長期前払費用	79	79
繰延税金資産	625	495
敷金及び保証金	2,540	2,473
その他	23	23
投資その他の資産合計	3,498	3,269
固定資産合計	24,052	23,977
資産合計	42,612	41,710

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年9月20日)	当事業年度 (2021年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2	—
電子記録債務	940	805
買掛金	6,505	6,214
1年内返済予定の長期借入金	458	673
リース債務	447	512
未払金	849	502
未払費用	1,157	1,105
未払法人税等	425	289
賞与引当金	450	425
その他	1,267	327
流動負債合計	12,505	10,856
固定負債		
長期借入金	8,948	8,274
リース債務	1,080	1,547
退職給付引当金	1,577	1,653
長期末払金	340	104
長期預り敷金保証金	376	348
資産除去債務	3,090	3,263
固定負債合計	15,414	15,192
負債合計	27,919	26,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425	1,425
資本剰余金		
資本準備金	1,585	1,585
資本剰余金合計	1,585	1,585
利益剰余金		
利益準備金	257	257
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,756	1,709
別途積立金	3,141	3,141
繰越利益剰余金	6,537	7,555
利益剰余金合計	11,693	12,663
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,703	15,674
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10	△12
評価・換算差額等合計	△10	△12
純資産合計	14,693	15,662
負債純資産合計	42,612	41,710

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)	当事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)
売上高		
商品売上高	95,755	95,863
不動産賃貸収入	354	378
売上高合計	96,110	96,241
売上原価		
商品期首たな卸高	8,285	7,239
当期商品仕入高	74,955	75,833
合計	83,241	83,072
商品期末たな卸高	7,239	7,332
商品売上原価	76,002	75,740
不動産賃貸原価	69	69
売上原価合計	76,072	75,809
売上総利益	20,038	20,431
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	8,859	8,958
賞与引当金繰入額	450	425
退職給付費用	142	124
減価償却費	1,196	1,373
その他	8,012	8,006
販売費及び一般管理費合計	18,661	18,887
営業利益	1,376	1,543
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	8
受取手数料	131	136
助成金収入	48	20
受取保険金	12	10
協賛金収入	—	56
雑収入	47	26
営業外収益合計	252	260
営業外費用		
支払利息	111	113
固定資産除却損	5	18
雑損失	26	16
営業外費用合計	142	148
経常利益	1,486	1,656
特別利益		
債務免除益	—	105
特別利益合計	—	105
特別損失		
減損損失	36	46
特別損失合計	36	46
税引前当期純利益	1,449	1,715
法人税、住民税及び事業税	344	429
法人税等調整額	60	130
法人税等合計	405	559
当期純利益	1,044	1,155

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余 金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,803	3,141	5,446	10,648	△0	13,659	
当期変動額										
自己株式の取得								△0	△0	
固定資産圧縮積立金の 取崩				△47		47	—		—	
当期純利益						1,044	1,044		1,044	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	△47	—	1,091	1,044	△0	1,044	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,756	3,141	6,537	11,693	△0	14,703	

	評価・換算 差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△15	13,643
当期変動額		
自己株式の取得		△0
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
当期純利益		1,044
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4	4
当期変動額合計	4	1,049
当期末残高	△10	14,693

当事業年度(自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,756	3,141	6,537	11,693	△0	14,703	
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の 取崩				△47		47	—		—	
剰余金の配当						△184	△184		△184	
当期純利益						1,155	1,155		1,155	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	△47	—	1,018	970	—	970	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,709	3,141	7,555	12,663	△0	15,674	

	評価・換算 差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△10	14,693
当期変動額		
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
剰余金の配当		△184
当期純利益		1,155
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1	△1
当期変動額合計	△1	969
当期末残高	△12	15,662

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)	当事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,449	1,715
減価償却費	1,204	1,381
長期前払費用償却額	1	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	△25
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	64	75
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△65	—
減損損失	36	46
受取利息及び受取配当金	△12	△8
支払利息	111	113
売上債権の増減額 (△は増加)	△411	△331
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,050	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6	△428
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,019	△978
債務免除益	—	△105
その他	989	△237
小計	5,443	1,128
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△107	△109
法人税等の支払額	△2	△546
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,335	472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,550	△800
定期預金の払戻による収入	1,800	2,100
有形固定資産の取得による支出	△982	△306
無形固定資産の取得による支出	△26	△111
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	—	△352
敷金及び保証金の回収による収入	79	307
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,679	836
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△392	△458
配当金の支払額	△0	△183
その他	△432	△589
財務活動によるキャッシュ・フロー	△825	△1,232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,830	76
現金及び現金同等物の期首残高	4,874	7,704
現金及び現金同等物の期末残高	7,704	7,781

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	66,039	29,715	354	96,110

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	66,093	29,770	378	96,241

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)	当事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)
1株当たり純資産額(円)	1,828.92	1,949.54
1株当たり当期純利益(円)	129.81	143.82

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2020年9月20日)	当事業年度末 (2021年9月20日)
純資産の部の合計額(百万円)	14,693	15,662
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	14,693	15,662
期末の普通株式の数(株)	8,033,720	8,033,720

- (注) 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)	当事業年度 (自 2020年9月21日 至 2021年9月20日)
当期純利益(百万円)	1,044	1,155
普通株式に係る当期純利益(百万円)	1,044	1,155
期中平均株式数(株)	8,046,151	8,033,720

(重要な後発事象)

該当事項はありません。